

12～15 歳の子どもへの新型コロナワクチン接種の対応について

新潟県医師会

新型コロナワクチン接種について、12 歳以上の子どもや若い世代では、高齢者と比べて接種部位の疼痛や発熱などの出現頻度が高いことが示されていることから、接種率の低下が危惧されております。

新潟県医師会では、新潟大学医学部小児科学教室からもご協力いただき、12～15 歳の子どもに対して新型コロナウイルスワクチンをどのように接種したらよいのか、その考え方や対応の仕方について取りまとめました。

また、ワクチン接種のメリット・デメリットなどを踏まえた医療機関向けの手引きや子どもや保護者への説明用リーフレットを作成しましたので、今後の接種の参考としてご活用いただければ幸いです。

■リーフレット等リンク先

[○子ども（12 歳から 15 歳）への新型コロナワクチン接種の対応について](#)

(2021 年 6 月 21 日 新潟県医師会)

[○12～15 歳の子どもへの新型コロナウイルスワクチン接種の手引き](#)

[○ワクチンの被接種者への説明リーフレット](#)